

おぢや未来ビジョン（第六次小千谷市総合計画）前期基本計画（案）  
に対するパブリックコメントの募集結果について

1 実施状況

【募集期間】 令和8年2月18日（水）から令和8年3月10日（火）まで

【募集結果】 7件（7人）

2 いただいたご意見と市の対応方針

No.	意見	回答	計画修正の有無
1	<p>47 ページ「3-2-4 交通安全・防犯・消費生活の推進」の「現状と課題」の中で、「交通事故件数は40件程度で推移し」との記述について、駐在より交通事故件数は昨年度は814件で内人身が31件の報告を受けました。交通事故件数は40件程度の記述は人身のみと思われますので、訂正したらどうでしょうか？</p>	<p>計画の記載内容について、具体的な数値に基づく大変貴重なご意見をいただき、ありがとうございます。</p> <p>ご指摘のとおり、47 ページ「3-2-4 交通安全・防犯・消費生活対策の推進」の現状と課題の項目に記載している「交通事故件数は40件程度で推移し」という数値は、物損事故を含まない「人身事故」のみの件数を指したものでした。</p> <p>誤解を招きかねない表現となっておりましたこととお詫び申し上げます。</p> <p>いただいたご提案のとおり、数値の意味を正確にお伝えするため、該当箇所について、以下のとおり修正（追記）いたします。</p> <p>【修正内容】</p> <p>「本市で発生した交通事故件数（<u>人身事故</u>）は、令和2（2020）年から令和6（2024）年まで40件程度で推移し…」</p> <p>今後とも、市民の皆様にご正しく伝わりやすい計画となるよう努めてまいります。</p>	有
2	<p>「主な施策」の項目の隣にあるSDGsのマークの文字がもう少し大きいほうが読みやすいと思いました。</p>	<p>貴重なご意見ありがとうございます。</p> <p>SDGs マークの文字が大きい方がよいとのことですが、ご指摘のとおり、文字としての表示が見えにくいと認識しております。しかし、SDGsの公式アイコン（17の目標アイコン）に含まれる文字の大きさを変更することや要素を削除することは、国連の規程により禁止されており、文字だけアイコンの脇に添えることはできませんが、アイコンの独立性と視認性を保つために「アイコンの周囲には一定の空間（余白）」</p>	有

		を空け、他の文字やデザイン要素を配置してはならない」と定められています。従いまして、スペースの関係上、項目とSDGsとの関係性を示すマークの表示はこのままとして、冒頭の説明文と合わせてマークを確認できるよう画像を追加いたします。	
3	<p>人口減少対策に関する意見です。</p> <p>人口減少問題は、小千谷市のみならず、日本における大きな潮流のようなものであって、これに抗うことは至難の業であると思います。国全体で減ってゆく人口を、各地域で取り合うことも不毛な争いのように見えます。</p> <p>勿論、当面の人口減少をどう食い止めるかという努力は必要ですが、もう一方で、「それでも人口が減ってゆく中で何をなすべきか」を考えておくことが、小千谷市の現実的施策として重要かと思えます。</p> <p>そこで二つ意見を述べさせていただきます。</p> <p>1. 25ページ 2-1-1 商工業の振興について</p> <p>小千谷市の誇る鉄工電子産業の力を結集発展させて、省力化・無人化設備の開発・生産を当市の新たな産業とするべく、支援・育成して行くのはどうでしょうか。</p> <p>この成果は、鉄工電子産業の新たな分野を開くとともに、例えば、当市の食品加工や農業における人手不足を補い、かつ生産性向上に繋がるものと思います。</p> <p>この考えはDXの一端とも言えますが、省力化・無人化設備産業育成をより具体的な目標とすることにより、当市の人口減少・人手不足に速やかに対応する手段となるかと思えます。</p>	<p>「人口が減っていく中で何をなすべきか」という、人口減少社会への現実的な対応について、具体的にご提案をいただきありがとうございます。ご指摘のとおり、人口減少に歯止めをかける努力は自治体として最重要の課題ですが、それと同時に、労働力不足や地域経済の縮小を前提とした上で「持続可能なまちの仕組みを再構築し、人口減少へ適応する」という両輪の考え方が不可欠であると本市も強く認識しております。</p> <p>いただいた2点のご提案について、本市の考え方と取組方針をお答えいたします。</p> <p>1. 商工業の振興について</p> <p>本市の誇る鉄工・電子産業の高い技術力を結集し、省力化・無人化設備の開発を新たな基幹産業に育てるというアイデアは、まさに当市の強みを活かした素晴らしいご提案です。</p> <p>基本計画においても、重点テーマ「2-1 産業の魅力を高め、担い手確保と地域経済の発展促進」のなかで、新技術の研究開発・導入や、DX推進による生産性向上を掲げております。また、農業分野においても「スマート農業技術の導入」による作業の省力化を支援していく方針です。</p> <p>ご提案いただいた「省力化・無人化技術の開発」は、製造業の新分野開拓にとどまらず、市内食品加工業や農業の深刻な人手不足の解消にも直結するものですので、産学官金の連携を活かしながら設備開発の支援について検討してまいります。</p>	無

	<p>2. 35ページ 2-4 働きやすい環境を整え、誰もが活躍できる職場環境の整備について</p> <p>小千谷市でも若者人口が減る一方、高齢者人口の割合が増加しています。高齢者は若年者に比べて労働能力は低いかもしれませんが、決してそれがゼロになったわけではないでしょう。長年蓄えた経験や知識をもっと活用して、若年労働者不足を補うことを考えてはどうでしょうか。</p> <p>女性の雇用環境改善も、生産人口減対策として大切ですが、高齢者が働き続けることのできる環境づくりも、同時に大切かと思えます。雇用側と高齢者のお互いがウイン・ウインとなるような当市独自の施策があれば良いと思えます。</p> <p>高齢者が可能な限り働き続けることで、生産人口確保の効果だけではなく、高齢者の生きがい作りや、健康年齢の伸長なども期待できるのではないのでしょうか。</p>	<p>2. 誰もが活躍できる職場環境の整備について</p> <p>生産年齢人口が減少する中、高齢者の長年蓄えた経験や知識を地域社会で活かす仕組みづくりは、本市の労働力確保だけでなく、高齢者ご自身の生きがいづくりや健康増進に直結する重要なテーマです。</p> <p>本計画では、ステージ3の「個性が尊重され、誰もが安心して暮らせる社会の構築」において、「働く高齢者（70～79歳）の割合」を目標指標（KPI）に設定しており、「年齢や障がいの有無にかかわらず、就業や社会参加の場を広げ、生きがいと役割を持って活躍できる機会を充実させる」ことを記載しております。現在もシルバー人材センターなどを通じた就業機会の提供を行っておりますが、ご提案のような高齢者のニーズと、人手不足に悩む地元企業のニーズをつなぎ合わせ、「雇用側と高齢者の双方がWin-Winとなる」柔軟な働き方の仕組みや環境づくりについて、連携して検討を進めてまいります。</p> <p>人口が減少しても、市民の皆様の力と知恵を結集することで、活力ある「おぢや」を維持し続けることができると考えております。引き続き、本市のまちづくりへのご支援とご協力をお願いいたします。</p>	
4	<p>去年引っ越してきたばかりなのですが、以前住んでいた埼玉よりずっと快適できれいな図書館もあって市民の暮らしやすさについて熱心に考えてくださっていることが伝わってきて大変ありがたいです。</p> <p>以前住んでいた所よりなぜ快適なのかと考えてみたのですが、人が少ないことや自然が豊かなであることが大きいと思います。この未来ビジョン以外できっと取り組んで下さっているだろうとは思いますが、自然環境についてもなにかあるといい市民として嬉しいです。緑がたくさんあるけど安心して歩ける場所があまりないので、箱物だけでなく自然公園などあるとありがたいです。（基本計画に関する内容</p>	<p>この度は、転入してこられた視点から小千谷市へご意見をいただきありがとうございます。</p> <p>「人が少なく自然が豊かであることが快適さにつながっている」ことや、「箱物だけでなく、安心して歩ける自然公園などが欲しい」というご意見は、これからのまちづくりにおいて大変貴重なご意見として受け止めております。</p> <p>ご提案いただいた内容は、本計画が目指す「おぢやの輪（人と地域の宝とのつながり）」の実現に直接関係するものです。</p> <p>本市では、豊かな自然環境を楽しみ、心地よく過ごしていただけるよう、計画の中に以下のような取組を記載しています。</p>	無

	<p>でなくてすみません)</p>	<p>1.新たな公園併設型施設（ソコラテ）の整備  現在、東小千谷地区において、市街地では唯一の「屋外公園併設型」の公共施設となる令和8（2026）年6月のオープンに向けて、防災公園内にスポーツコミュニティプレイス「ソコラテ」の整備を進めています。</p> <p>2.水辺の「くつろぎの場」の形成と遊歩道整備  当市を流れる信濃川などの河川が作り出す水辺の環境は、暮らしに潤いや安らぎをもたらす大切な場所です。豊かな水辺に親しんでいただけるよう、信濃川遊歩道の整備などを通じて、自然の中で安心して歩ける環境の整備を進めてまいります。</p> <p>3.山本山などの圧倒的な自然景観の保全と活用  市街地からほど近い「山本山」の圧倒的な景観やひまわり畑など、小千谷が誇る豊かな自然を守りながら、誰もがリフレッシュでき、季節を感じながら散策できるような環境づくりに取り組みます。</p> <p>建物などの施設整備だけでなく、自然と調和した心地よい空間づくりこそが、長く住み続けたいと思えるまちの条件だと考えております。今後とも、小千谷の豊かな自然を満喫しながら、未永く快適に過ごすことができる環境整備に努めてまいります。ぜひ、日々の暮らしの中で感じたことなど、これからもお気軽に声をお寄せいただけますと幸いです。</p>	
5	<p>「全体に対して」  基本計画全体に対して感じた事です。  決して強制はしていませんが「結婚」「出産」「こどもを育てる」事が前提になっており、子育て期を過ぎた私でも違和感を感じ、当時の行き詰まり感を思い出しま</p>	<p>計画全体を通じた重要なお意見・ご提案をいただきありがとうございます。  本計画は「人口減少克服プラン」として、将来の目標人口を維持するための施策をまとめている性質上、ステージ1の最上位の目標（KGI）に「出生数」や「合計特</p>	無

<p>す。なおのこと当事者世代は圧力・プレッシャーを感じるのではないのでしょうか。</p> <p>そしてその「結婚～育てる」事が良い選択である」と思う市民の方々が大半ではないかと思えます。</p> <p>とても素晴らしい、代え難い経験であると私も強く思います。ただ、世界情勢が不安定であり、また、各自に多様な人生設計がある中で「結婚」「出産」「子どもを育てる」事が当たり前には選択できない状況だとも思えます。</p> <p>そこで小千谷市と市民のみなさんをお願いしたい事は、家庭・職場・町内・学校などいろんな場で以下の雰囲気を作ってみる事です。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・結婚や出産が押し付けにならない、選択権は若者に有って若者が決めた事を応援する雰囲気</li> <li>・全ての世代で「男性」「女性」に偏った、仕事・社会での役割・考えの押し付けがない雰囲気</li> <li>・今小千谷に住んでいる市民1人1人が、自分と他人の様々な人生を尊重し、小千谷の「いいところ」</li> </ul> <p>「変わってほしいところ」を自然に話せてみんなの問題に取り組める雰囲気</p> <p>小千谷市全体の雰囲気がより良くなり、今小千谷に住んでいる人も、これから住む人も、全ての人が尊重され安心して暮らせる事につながっていくと思えます。</p>	<p>殊出生率」などを掲げております。そのため、ご指摘のとおり、当事者世代に対するプレッシャーや、「結婚し、子どもを育てることが正しい」という特定の価値観の押し付けと受け取られかねない側面があることについては、行政としても発信のあり方などに細心の注意を払う必要があります。</p> <p>本計画におきましても、ステージ1（こそだて）の基本的な考え方として「若い世代の多様な価値観を尊重」することを掲げ、結婚に関する支援においても「本人の意思を最大限に尊重する」ことを前提としております。決して特定の生き方を強制・推奨するものではなく、あくまで「結婚や子どもを持つことを望む人が、安心してその希望をかなえられる環境を整え支援する」ための施策として記載しており、誤解のないよう丁寧にお伝えしていく必要があります。</p> <p>また、ご提案いただいた「家庭・職場・地域などにおける雰囲気づくり」は、まさに小千谷市が目指すべき社会の姿そのものです。本計画では、以下のような取組を推進してまいります。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 性別役割分担や考えの押し付けがない雰囲気づくり       <p>ステージ3「多様性の尊重とジェンダー平等の推進」において、性別や年齢、立場の違いなどに対する無意識の偏見（アンコンシャスバイアス）や固定的な役割分担意識の解消に向けた啓発を図り、多様な生き方や価値観を認め合える社会の実現を目指します。</p> </li> <li>2. 多様な人生を尊重し、自然に話し合い、応援し合える雰囲気づくり       <p>基本構想でお示した「おぢやの3つの合言葉（挑戦・応援・発信）」は、「関わり方や活動の有無にかかわらず、どのような状況にあっても、全ての人が尊重され、安心して暮らせることを前提」としていま</p> </li> </ol>
--	--

		<p>す。また、「みんなの一步で、未来づくり大作戦」などの市民参画の取組を通じて、市民の皆様が互いの生き方を尊重し、小千谷の未来や課題について自然に話し合い、チャレンジを応援し合える「おぢやの輪」を広げてまいります。</p> <p>いただいたご意見のとおり、小千谷市全体の雰囲気により良くなり、全ての人が尊重され、自分らしく安心して暮らせる環境が醸成されてこそ、今住んでいる人にも、これから住む人にも選ばれるまちになると考えております。今後の計画の推進や日々の情報発信にあたっては、多様なライフスタイルや価値観への配慮が市民の皆様にしっかりと伝わるよう表現を工夫するとともに、ご提案いただいた「温かく多様性を尊重する雰囲気づくり」に向けた意識啓発を進めてまいります。</p>	
6	<p>計画書を拝見しました。既存の状況からみると少しでも前進させようという内容だとは思いますが。勝手ながら下記の点コメントさせていただきます。</p> <p>1-1-1 出会いの機会の創出 実績、KPI ともに低いと思います。難しい状況は理解も、抜本的にやり方を見直してはいかがでしょうか？ 例えば、いきなり勝負の日ではなく、男女でダンスやスポーツを楽しむ日、異性との話し方 TIPS を学ぶ練習会を設ける。 ないしは市外で結果を残している業者に依頼する手もあるかもしれません。</p> <p>1-4 生きる力を育む学校教育の推進 特別支援級の充実が小千谷の教育の良い点は魅力的だと思います。 一方、もっとおもいきって子供が遊べる</p>	<p>「1-1-1 出会いの機会の創出」について たくさんの貴重なご提案をいただきありがとうございます。本市でも、結婚に関する価値観の多様化や、これまでの出会いイベントにおける参加者の固定化などを課題として認識しております。ご提案いただいた「男女でスポーツを楽しむ日」や「コミュニケーションスキルを学ぶ練習会」など、いきなり結婚を意識する前の段階として、自然な形で交流できる場の創出は非常に有効だと考えております。民間事業者のノウハウ活用も含め、参加者が気軽に参加でき、前向きな出会いにつながる事業内容を検討してまいります。</p> <p>「1-4 生きる力を育む学校教育の推進（子どもの遊び場と指標）」について 「子どもが思いっきり遊べるまち」という視点は、子育て世帯の定住において非常</p>	無

<p>まちという点を前面に出してはいかがでしょうか？</p> <p>例えば、学校の校庭開放はされているところとされていないところがあります。公園が少ない小千谷で、今ある学校校庭の資源をいかし、学校の全面校庭開放、ホントカ、新たに加わるソコラテなど、おもいっきり遊べる小千谷であれば、大いに魅力は増すと思います。</p> <p>そういう意味では、調査指標も子供達が、「毎日が充実しているか」「このまちに将来も住みたいか」「みたいな方が適切かもしれません。</p> <p>2-2 起業</p> <p>起業家育成支援は十分に手厚いと思います。</p> <p>一方、資金面でのサポートがもう少しあるといいのではないのでしょうか？</p> <p>例えば飲食店などをやろうとしても1千万円単位の金額がかかる中、100万円のサポートでは踏み切る決断に足りません。挑戦を応援する小千谷として、投資規模に応じたの資金提供を考えてはいかがでしょうか？</p> <p>KPIも目標値が挑戦を応援する小千谷市としては低いと思います。</p> <p>&lt;起業率&gt;</p> <p>新潟県平均：1225社／210万人=0.058% (2024年実績)</p> <p>小千谷市目標：8／3万人=0.027%</p> <p>2-3-2 U・Iターン就職の推進</p> <p>小千谷の学校を出る前に、いかに小千谷の企業の人と関連性をもてるかが、非常に重要だと思います。</p> <p>インターンシップも勿論重要だと思います。加えて、社会人と中・高生が1人対3人とかで話をできる様なワークショップを行ってはどうか？(全体として社会人30人対、学生90人でテーブルで4人</p>	<p>に重要であると認識しております。本計画においては、暮らしや交流の場として「ホントカ。」や新たに整備する「ソコラテ」などの公共施設、都市公園などの遊び場の充実を掲げています。学校の校庭開放につきましても、地域との関わりの中で安全に遊べる環境づくりの一環として、関係機関と連携し検討を進めます。</p> <p>また、調査指標(KPI)に関するご提案についても深く共感いたします。「毎日が充実しているか」「将来も住みたいか」といった、子どもたち自身の実感や郷土愛を測る指標の導入について、今後の計画の進行管理の中で検討してまいります。</p> <p>「2-2 起業」について</p> <p>起業支援については「BALLOON(バルーン)」などの起業家育成事業を通じて伴走型の支援を行っておりますが、ご指摘の通り、飲食業など初期投資が大きい事業への資金的ハードルは課題です。投資規模に応じた市の支援のあり方については、国・県の補助制度の活用や市内金融機関との連携を含め、より実効性の高いサポート体制を検討します。また、KPI(新規起業・創業数)の目標値についても、「挑戦を応援する小千谷」としてさらに高い水準を目指すべきとのご指摘を真摯に受け止め、今後の事業展開の状況を踏まえ、より挑戦的な目標設定を検討してまいります。</p> <p>「2-3-2 U・Iターン就職の推進(中高生と社会人の対話)」について</p> <p>本市でも、中学生から地域の産業を学ぶ「おぢやしごと未来塾」やインターンシップなどのキャリア教育を推進しております。しかし、ご提案のとおり、若者が将来Uターンを考える際に「地元知っている大人(企業人)がいる」ことは大きな強みになります。学生と社会人が少人数でフラ</p>	
--	--	--

<p>ずつ分けるみたいな) 若者たちにとって、都会に出て、小千谷に帰ってくるか考えたときに、小千谷に話ができる企業人がいるというのは、重要だと思います。</p> <p>2-4 誰もが活躍できる職場環境の整備 男性社会を変革して女性が生きやすくなるために、非常に重要なテーマだと思います。 女性の管理職比率をあげるために、小千谷市役所で女性の管理職比率を例えば 30-40%を目標にするなど模範となっはいかでしょうか？ (現状の数値が分からないので、向上するという意味です)</p> <p>4-1-1 観光の振興 外国人観光客を増やすことを明記してはどうでしょうか？ 錦鯉の里、角突き、食べ物、小千谷人のよそ者をも大切にする気質は、外国人観光客から見て、非常に魅力的だと思います。ただ、今は伝わっていないと思います。本格的な発信者を置くことや、小千谷に住む外国人の方に発信を担ってもらうなどの方法で劇的に変わると思っています。</p> <p>4-4 市民参画 アンバサダーの活用に関しては、小千谷の良さを PR して頂くことを重点にしてはどうでしょうか？ 自分の子供や知り合いを既存の制度のメリットを使って呼び戻す難易度が高いこと</p>	<p>ットに対話できるワークショップなど、顔の見える関係性を築くためのより深い交流の場づくりについて、学校や企業と連携して企画を検討いたします。</p> <p>「2-4 誰もが活躍できる職場環境の整備（市役所の女性管理職比率）」について女性が能力を十分に発揮し、誰もが働きやすい環境をつくるためには、行政自らが率先して模範を示すべきであるとのご意見をいただきました。本市においては、「小千谷市特定事業主行動計画」や「おぢや男女共同参画プラン」に基づき、女性職員の計画的な登用に取り組んでいます。市役所が地域企業の良きロールモデル（模範）となれるよう、女性管理職比率のさらなる向上を目指し、組織内の意識改革と環境整備を強力に進めてまいります。</p> <p>「4-1-1 観光の振興（外国人観光客の増加・発信）」について 本市の錦鯉や牛の角突き、小千谷縮、豊かな食文化、そして市民の温かい気質は、外国人観光客（インバウンド）にとって非常に魅力的であると捉えております。 ご提案いただいた「専門的な発信人材の確保」や、「市内に住む外国人住民の視点を活かした情報発信」は、本市の魅力の世界に届ける上で非常に有効なアプローチです。基本計画でも「錦鯉発祥の地」としての国内外への発信を掲げておりますが、多文化共生社会の推進とも連動させながら、外国人目線での魅力発信の仕組みづくりを検討してまいります。</p> <p>「4-4 市民参画（未来づくりアンバサダーの役割）」について 「未来づくりアンバサダー」の役割と活用については、直接的な「人の呼び戻し（移住の勧誘）」を成果として求めることは難易度が高く、アンバサダーの皆様の負</p>	
--	--	--

	<p>は、アンバサダーをされた方は既に身に染みていると思います。</p> <p>ですからアンバサダー会合の参加率も高くないのだと思います。</p> <p>定義をあいまいにしたままアンバサダーの人数を増やすことに意味はないと思います。</p> <p>それよりも、小千谷の人の他人にも親切にする真心、足りないものは自分たちでつくる文化、充実した支援級、加えて存分に子供達が遊べる環境（校庭開放など）をつくって、口コミや SNS で市内外に PR していくことであれば、皆さん喜んでされると思います。</p> <p>そういう活動を報告しあう場所ならば、アンバサダーの皆さんも大いに参加されるのではないのでしょうか。</p> <p>それが、結果として小千谷に戻ってくる人、来る人が増えていくことにつながると思います。</p>	<p>担や参加へのハードルになりかねません。</p> <p>本計画の「おぢやの輪」の理念が示すように、まずは市民やアンバサダーの皆様自身が小千谷の良さ（子育て環境や人の温かさなど）を感じ、誇りを持ち、それを SNS や口コミでポジティブに発信・報告しあえる「場」をつくるのが最優先であると再認識いたしました。そうした自発的で楽しい発信の輪の広がりが、結果として「小千谷に行ってみたい、住んでみたい」という人を増やすことにつながるよう、アンバサダーの活動内容や交流のあり方を検討してまいります。</p>	
7	<p>【ステージ1「こそだて」のステージ】 P.7 [該当箇所] 将来の姿「新しい家族が誕生している」 [懸念点] 「新しい家族が誕生している」という表現は、出産を前提とした価値観として受け取られる可能性があり、行政計画としてはやや限定的だと感じました。近年は多様なライフスタイルが存在していることから、より幅広い状況を含む中立的な表現とすることで、計画全体の趣旨がより伝わりやすくなるのではないかと思います。 [提案] 例えば、 ・「それぞれのライフスタイルが尊重され、安心して暮らしている」 ・「子どもを望む人が安心して子どもを産み育てられる環境が整っている」 などの表現も検討してはいかがでしょうか。</p>	<p>【ステージ1「こそだて」のステージ】 P.7 将来の姿「新しい家族が誕生している」の表現について 貴重なご提案をいただきありがとうございます。本計画でも「若い世代の多様な価値観を尊重」することを基本的な考え方として記載しておりますが、ご指摘のとおり、「新しい家族が誕生している」という表現が限定的な価値観の押し付けと受け取られかねない点には配慮が必要です。本計画は「人口減少克服プラン」として出生数増加を一つの目標としているため、ステージ1においては、この表現を用いておりますが、大前提として「子どもを望む人が安心して産み育てられる環境づくり」であることを記載しており、市民の皆様にご理解なく伝わるようにいたします。</p>	有

<p>P. 8 [該当箇所] KGI（重要目標達成指標）「合計特殊出生率、出生数」 [懸念点] こそだてのステージの KGI が出生数・出生率となっており、子育て支援施策の成果との関係がやや読み取りにくいように感じました。子育て環境の満足度などは KPI として設定されていますが、子育て世帯が安心して暮らし続けられているかという観点の成果指標が見えにくいように感じます。 [提案] 子育て支援施策の成果をより適切に把握するため、出生率・出生数に加え、 ・子育て世帯の定住率 ・子育て世帯の居住継続意向 などの指標を KGI として併せて設定することについても検討してはいかがでしょうか。</p>	<p>P. 8 KGI「合計特殊出生率、出生数」について 本計画は総合戦略を人口減少克服に特化したプランであるため、ステージ1の最終ゴール（KGI）を自然増減に直結する「合計特殊出生率・出生数」に設定しておりますが、合計特殊出生率については、人口推計を行う際に活用する指標であり、一般的に分かりにくい数値でありますので、目標値から外し、推計の参考値として管理することとしたいと考えます。ご提案の「定住率」や「居住継続意向」につきましては、ステージ3の KGI である「転出者数」や、ステージ1の KPI「子育て環境の満足度」などで複合的に把握する構造としております。しかしながら、子育て世帯が定住し続けたいと思える環境づくりは最重要課題ですので、各種アンケート等を通じて居住継続意向の把握に努めてまいります。</p>	
<p>P. 18 [該当箇所] KPI（重要業績評価指標）「地域に貢献したいと思う割合」 [懸念点] 「地域に貢献したいと思う割合」や「自分にはよいところがあると思う割合」は、住民意識や自己認識に関する主観的な指標であり、施策の成果との関係がやや読み取りにくいように感じました。また、学校・家庭・地域の連携による教育環境の充実が掲げられていることから、その取組との対応関係がやや分かりにくい面もあるように思われます。 [提案] 地域活動への参加率や地域行事への参加状況など、実際の行動を示す指標を併せて設定することで、施策成果との関係性がより分かりやすくなると思います。行動指標との併用についても検討してはいかがでしょうか。</p>	<p>P. 18 KPI「地域に貢献したいと思う割合」について ご指摘のとおり、こちらは主観的な意識指標となっております。この KPI は「郷土愛を育む教育」の施策に対応しており、まずは子どもたちの郷土への理解と愛着（意識）を育むことを当面の目標（先行型 KPI）として設定しています。実際の行動変容（地域活動への参加等）については、ステージ4の「市民参画」における「未来づくりアンバサダー登録者数」等で測っていく構造となっておりますが、ご提案の行動指標との併用については、今後の PDCA サイクルの中での指標見直しの際に検討させていただきます。</p>	

<p>【ステージ2「はたらく」のステージ】 P. 24 [該当箇所] KGI（重要目標達成指標）「転入者数」 [懸念点] 産業振興や働きがいの創出が掲げられている一方で、KGIが「転入者数」のみとなっており、施策成果を直接測る指標との対応関係がやや分かりにくいと感じました。 [提案] 転入者数に加え、 ・市内就業者数 ・雇用定着率 など、産業振興の成果を直接測る指標を併せて設定することについても検討してはいかがでしょうか。</p>	<p>【ステージ2「はたらく」のステージ】 P. 24 KGI「転入者数」について ステージ2は「社会増の実現（転入促進）」に主眼を置いているため、結果指標（KGI）を「転入者数」としております。一方で、産業振興の直接的な成果を測ることは非常に重要であるため、先行型KPIとして「新規雇用・就業者数」や「U・Iターン就職者数」を設定し、段階的に成果を把握する構造としています。ご提案の「雇用定着率」等を含め、産業振興の成果が転入増にどう結びついているか、より分かりやすい分析に努めます。</p>	
<p>P. 31・P. 32 [該当箇所] 「働きがい」、KPI（重要業績評価指標） [懸念点] 「働きがい」を掲げている一方で、KPIは求人充足率や支援制度の利用件数など、主に雇用確保や定住促進に関する指標が中心となっているように感じました。 [提案] 雇用定着率や正規雇用比率など、雇用の質や働きがいを測る指標についても補完的に設定することを検討してはいかがでしょうか。</p>	<p>P. 31・P. 32 「働きがい」に関するKPIについて 現状のKPIは人材の確保や定住促進に重きを置いた指標となっていますが、「誰もが活躍できる職場環境の整備」を推進する上で、ご提案いただいた「雇用の定着率」や「正規雇用比率」など、雇用の質や働きがいを測る指標は不可欠であると認識しております。数値を正確に把握することは困難ではありますが、アンケート等による実態把握を検討するとともに、今後の指標の追加・見直しにおいて補完的な設定を検討してまいります。</p>	
<p>【ステージ3「くらす」のステージ】 P. 38 [該当箇所] KGI（重要目標達成指標）「転出者数」 [懸念点] ステージ3は暮らし、医療、防災、福祉、交通など生活環境全体に関わる施策を含んでいるにもかかわらず、成果指標が「転出者数」のみとなっています。転出は</p>	<p>【ステージ3「くらす」のステージ】 P. 38 KGI「転出者数」について ご指摘の通り、転出の要因は様々であり、生活環境施策のみで直結するものではありません。各ステージでは主に影響が大きい数値をKGIとして設定しておりますが、本計画では、「生活環境を改善・維持する（先行型KPIの達成）」→「暮らしの満足度が向上する（後発型KPIの達成）」</p>	

<p>進学、就職、結婚など多様な要因によるため、生活環境に関する施策の効果を直接測定する指標としては、やや限定的に見える可能性があると感じました。</p> <p>[提案]</p> <p>転出者数は重要な指標ではありますが、生活環境の改善との関係性をより分かりやすくするため、KPIとして設定されている生活満足度指標との関連を明確にするなど、施策成果とのつながりが読み取りやすくなる整理を検討してはいかがでしょうか。</p> <p>例えば、居住継続意向や定住意識などの指標を併せて示すことで、生活環境施策との関係性がより分かりやすくなる可能性があると感じました。</p> <p>P. 38 [該当箇所] KPI (重要業績評価指標)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・安全で安心、快適な暮らしの満足度</li> <li>・健康的に過ごす暮らしの満足度</li> <li>・社会とつながりを感じている人の割合</li> </ul> <p>[懸念点]</p> <p>これらの指標は主観的な指標であり、生活環境の評価として重要ではありますが、政策効果との関係がやや読み取りにくい面があると感じました。</p> <p>[提案]</p> <p>公共交通利用者数や自主防災組織活動カバー率、診療所新規開設数などの先行型KPIと生活満足度指標との関係性が分かるよう整理されると、政策効果とのつながりがより明確になると感じました。</p> <p>【ステージ4「みがく・つなぐ」のステージ】</p> <p>P. 60 [該当箇所] KGI (重要目標達成指標)「関係人口」</p> <p>[懸念点]</p> <p>関係人口の指標は「おぢやファンクラブ</p>	<p>→「結果として市外への転出が抑制される(KGIの達成)」という因果関係(KPIツリー)を想定しています。ご提案いただいた「居住継続意向」などとのつながりが市民の皆様により分かりやすくなるよう、進行管理や評価の際の公表方法を検討いたします。</p> <p>P. 38 生活満足度などのKPIと先行型KPIとの関係性について</p> <p>計画書冒頭で「KPIツリー(P.8)」において、ご指摘の「公共交通利用者数」や「自主防災組織活動カバー率」などの先行型KPIが向上した結果として、「暮らしの満足度(後発型KPI)」の向上につながる構造をお示ししております。しかし、各該当ページではそのつながりが読み取りにくい面があるため、施策の推進や実績報告の際には、具体的な政策効果が満足度へどう影響したかが明確に伝わるよう整理してまいります。</p> <p>【ステージ4「みがく・つなぐ」のステージ】</p> <p>P. 60 KGI「関係人口」の定義について</p> <p>本計画の「関係人口」は、客観的かつ継続的に測定可能な指標として、ファンクラブやふるさと納税リピーター等の「登録者数等の合算」で定義しております。しかし</p>	
--	---	--

<p>登録者数」「ふるさと納税リピーター数」「未来づくりアンバサダー登録者数」「ふるさと住民登録制度登録者数」の合算として定義されていますが、これは行政的に把握しやすい指標ではあるものの、実際の地域との関わりや交流の深さを十分に示しているとは言い切れず、施策成果との直接的な関連性が分かりにくいと思います。</p> <p>[提案]</p> <p>関係人口指標が登録者数に限定されている点については、例えば「実際の体験や交流の指標と併用することで、施策成果との整合性を図る」といった旨を明記することも検討されてはいかがでしょうか。</p> <p>P. 61 [該当箇所] 4-1-1 観光の振興 [懸念点]</p> <p>観光施策では「地域資源を活かした体験や交流」が重要な取組として示されていますが、具体的な KPI が来訪・体験・滞在行動などの成果と十分に紐づいておらず、施策と関係人口創出との関連性が分かりにくい印象を受けました。</p> <p>[提案]</p> <p>来訪者数、体験参加者数、宿泊者数、観光消費額など、施策の効果を直接測れる KPI を設定し、通過型観光から滞在型観光への転換や関係人口創出とのつながりを明確にすることを検討してはいかがでしょうか。</p> <p>P. 66 [該当箇所] KPI (重要業績評価指標)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ Instagram フォロワー数</li> <li>・ LINE 登録者数</li> <li>・ HP アクセス数</li> </ul> <p>[懸念点]</p> <p>Instagram フォロワー数、LINE 登録者数、HP アクセス数などの指標は、全体 KPI</p>	<p>ご指摘の通り、数字だけでなく「交流の質(深さ)」が重要です。実際の体験や交流の状況については、KPI である「観光入込客数」等で補完的に把握していく想定ですが、ご提案のとおり「実際の体験や交流の指標と併用して成果を図る」旨を注釈等で明記し、二地域居住や体験交流などの質的な評価も検討いたします。</p> <p>P. 61 4-1-1 観光の振興の KPI について</p> <p>観光振興の全体的な効果は、ステージ 4 の後発型 KPI である「観光入込客数」で測定し、施策ごとの効果は「観光施設の入館者数」等で測る構造としています。しかし、通過型観光から滞在型・体験型観光への転換を図る上で、ご提案いただいた「宿泊者数」や「観光消費額」といった直接的な効果を測る指標は非常に重要です。毎年の進行管理を通じて、これらのデータの把握方法と評価への組み込みを検討してまいります。</p> <p>P. 66 情報発信の KPI について</p> <p>ご指摘のとおり、情報発信そのものは手段であり、最終的な行動変容につなげることが目的です。本計画では、SNS フォロワー数などを「まずは知ってもらう・関心を持ってもらう(到達度)」ための先行型 KPI として設定し、その結果としての行動変容を、ステージ 4 の KGI 「関係人口」や、ステージ 2 の「移住支援制度の利用件</p>
---	---

<p>である交流人口・関係人口の増加にどのように貢献するかが明示されておらず、施策成果との関係がやや分かりにくいと感じました。</p> <p>[提案]</p> <p>情報発信の到達度を示す指標に加え、来訪者数、イベント参加者数、観光消費額、移住相談件数など、実際の行動変容や地域への関わりを示す指標も併せて提示すると、施策成果との関係がより分かりやすくなるのではないのでしょうか。</p>	<p>数」等で測っていく体系としています。各施策が全体 KPI にどう貢献しているか、施策間の連動性が市民の皆様に分かりやすく伝わるよう、効果検証の際に見せ方を工夫してまいります。</p>	
--	--	--